



令和7年6月9日



チームたかとく・はくれない

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -0609本校校長たより⑤-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上 松 武

■高等部の校内・職場実習

- ・5月22日(木) 高等部で「春のわくわくワーク(校内・職場実習)」の壮行会があり、次の3つのことを生徒たちに激励を込めて話しました(前回のたよりでも掲載しました)。

①何事にも一生懸命に取り組む

②毎日決めた生活リズムで実習をやり切る

③実習を通して、「自分のよいところ」や「自分で自分の好きなところ」を見つける

5月26日(月)から3週間の実習が始まっています。高等部1年生は3週間校内実習に取り組む、2年生と3年生は福祉事業所や企業での実習に励んでいます。

- ・6月10日(火)にいくつかの事業所を訪問し、実習の様子を見たり話を聞いたりしてくる予定です。
- ・この実習は、決して高等部の生徒だけの話ではありません。中学部はもちろん、小学部の先生方や児童生徒にも関心をもってもらいたいと考えています。
- ・下の図は『『働く人』にはいいこと いっぱい』というタイトルで、「働く」ことで得られることが分かりやすくまとめられています。高等部棟の廊下壁面に掲示されています。
- ・小学部の児童にとって係活動や清掃、授業の準備や後片付けが「働く」ことにつながります。係活動を毎日確実にすることで信頼と責任を得ることができ、感謝されほめられます。中学部の生徒にとっては作業学習での仕事が「働く」につながります。高等部での学習の基礎固めになります。



- ・少しの時間でかまいせんので、小中学部の児童生徒と先生方から、高等部の生徒が実習に取り組んでいる一所懸命な姿を見てほしいと思います。

■人を喜ばせることが得意な子どもたち

□「花ののれん」から「涼を感じるのれん」へ～小学部5年生からの贈り物～



- ・小学部2年生が制作した飾りを5月の1か月間、校長室の入口に飾りました。毎日春を感じることができました。
- ・5月下旬のある日、小学部5年生の教室をのぞいた時、楽しそうに図画工作の授業に取り組んでいました。「6月ののれんを作ってもらえたらな～」と声を掛けたところ、早速作って持ってきてくれました。そこには、かたつむりやカエル、てるてるぼうずなど季節感満載で、涼を感じる絵がたくさんありました。
- ・人に喜んでもらうことを粋に感じることは、この先の人生にとってとても大切なことです。「人の役に立つこと」「人から感謝

されること」は自己肯定感の高まりとなり、幸せな毎日を送ることができると思います。「貢献」と「感謝」を体験できる学習活動を進めていきましょう。

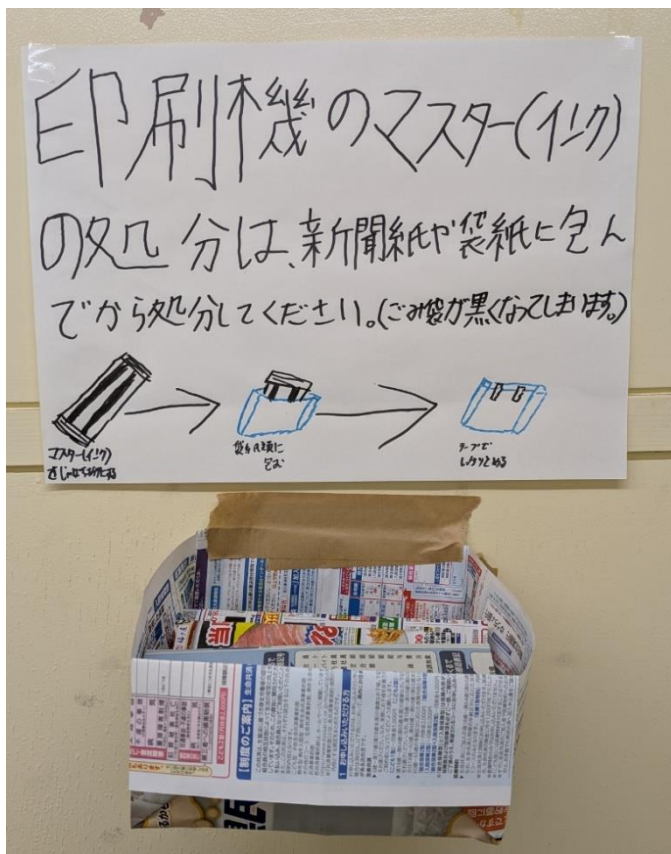
□校長の所在お知らせボード～中高生からの贈り物～

- ・保健室の壁面に、養護教諭の先生方が今どこにいたかが分かるステキな手作りボードがありました。
- ・何気なく、「校長室にもあるといいな～」とつぶやいたところ、翌日に私の手元に届きました（Amazonより早いんですね）。
- ・ボードのデザインは二人の養護教諭の先生が考えて作り、「出張」や「会議中」などの文字は小中高部の児童生徒8名が1つずつ書いてくれたそうです。
- ・ボードの制作に何人もの子どもたちが関わってくれたこと、そのようなステキなアイデアで仕上げてくれたことに感激と感謝です。大切にさせていただきます。



□さり気ない気遣い～気付きましたか、皆さん？～

- ・印刷室の壁面に、印刷機のマスターなどを処分する時に手が汚れないよう、新聞紙で作った箱が置いてありました。
- ・この心遣いはすごいと感激しました。「『これがあったらいいだろうな』と周りの人が思



うだろう」と想いを馳せて、相手が助かることや相手が喜ぶことが、校内のあちこちにひっそりと置かれています。

- ・多忙な毎日ですが、ちょっと癒されますよね。ありがとうございます。

■成長の伝え方

～前期個別の指導計画の

評価の参考に～

個別の指導計画、個別の教育支援計画、そして合理的配慮の提供を作成していただき、ありがとうございました。

少し気が早いですが、評価について参考にいただければ幸いです。

①伝わりやすい評価の書き方

- ・下のア～エの順で評価を書くと読みやすく分かりやすい内容になるのではないのでしょうか。

- ・この順を追った記載は、私たちが授業を考えるときの順序ではないでしょうか。「指導と評価の一体化」とはこのようなことなのかもしれません。

ア どんな学習に取り組んだのか。

イ その学習活動に私たち教師はどのように取り組ませたのか。

ウ 子どもが取り組んだ結果、何を身に付けたのか。どう変容したのか。何ができるようになったのか。

エ 身に付けたことを他の場面で活用する姿はあったのか。

②評価の3観点を意識した書き方

- ・評価の3観点を意識して記載しましょう。職員会議の資料にもありましたが、私たちが実践している授業を通して、評価の3観点を次のように考えてみてください。

□知識・技能：例えば、算数の計算方法だけ、漢字の読み書きだけを覚えるだけではありません。なぜその計算方法で正しく答えが出るのか、この漢字は他にどのような使い方があるのかなど理解を伴った知識や技能であるか評価してみてください。

□思考・判断・表現：単に知識・技能を身に付けているだけでなく、基礎的な知識・技能をうまく活用しながら、さらにその先を自分なりに考え、考えたことを分かりやすく人に伝えることや、それらを使ってプラスアルファの自分なりの考えで行動することなどの点から評価してみましょう。

□主体的に学習に取り組む態度：「今日はプリントを3枚がんばった」「問題に20分集中して取り組んだ」「跳び箱5段を何度も挑戦し跳べるようになった」などは大切な主体的に取り組む態度です。さらに、違う取り組み方や挑戦の方法を考えて実践したかどうか大切な視点となります。

- ・記載例を次のページの表に示しましたので、評価作成時の参考にしてください。
- ・また、表中の「作業学習」の評価を例にして、3観点のどれに当たるのかも示しました。
知識・技能：太線 思考・判断・表現：波線 主体的に学習に取り組む態度：二重線

作業学習	算数数学	図画工作	体育	特別活動
折り目を手がかりに牛乳パックを切ることが上達した。繰り返すことで切り方のコツを覚え、30分間で60個切ることができた。新製品にも意欲的に取り組んだ。	広告から買う物を選び、設定金額内で買う学習をした。電卓を使って計算し、設定金額を超えることなく、品物を選ぶことができた。	はさみの扱いが上達した。線をよく見てはさみを動かし、ハートや星の形を切り抜いた。紙の持ち方を工夫して、余白部分を切り整える仕上がりもできた。	1300mの持久走では、自分で目標記録を設定し、毎時間、意識して取り組んだ。最後まで自分のペースで走り続け、当日はベストタイムを更新した。	給食当番では盛り付けと配膳を担当した。主菜をこぼさないようにトングの持ち方に気を付けて盛り付けをしたり、汁物をこぼさないように配膳できた。

■登校時刻前の受入れについて～希望保護者の方との相談から～

- ・先回、登校時刻前受入れ調査の結果をお伝えしました。
- ・学校の対応としては、次のように考え、希望する保護者の方と個別に相談を行っている最中です。

対応 ①希望保護者からファミリーサポートの通学支援を活用していただく。
 ②学校は場所を提供する（小：プレイルーム 中：学習室）
 ③ファミリーサポート提供会員が自宅からの学校までの送迎＋8時から8時25分までの校舎内での見守りを行う。

- ・6月6日現在、個別に相談した結果は次のとおりです。小学部2名の方が登校時刻前の受入れ実施に向けて、ファミリーサポートと相談などを行っています。
- ・その方々の諸準備が整い次第、受入れを開始します。

	ファミサポ相談中	対応保留	希望の取り下げ	これから個別に相談
小学部 9名	2名	0名	3名	4名
中学部 10名	0名	1名	8名	1名

■絵本の紹介

『ぼくはなきました』 作：くすのき しげのり 絵：石井聖岳



あらすじ

さんかんびに じぶんの いいところを はっぴょうすることになった ぼく。

いくらかんがえても、おもいだすのは ともだちの いいところばかり。

やっぱり ぼくには いいところなんてないんだ。なきそうになった ぼくに、せんせいが おしえてくれたのは、じぶんでは わからなかった

ぼくの とっても すてきな いいところ！

（「絵本ナビ」ホームページより引用）

人のよさに気付けることの大切さがよく伝わっ

てきます。私たち大人こそ、読んでみる絵本だと思います。